

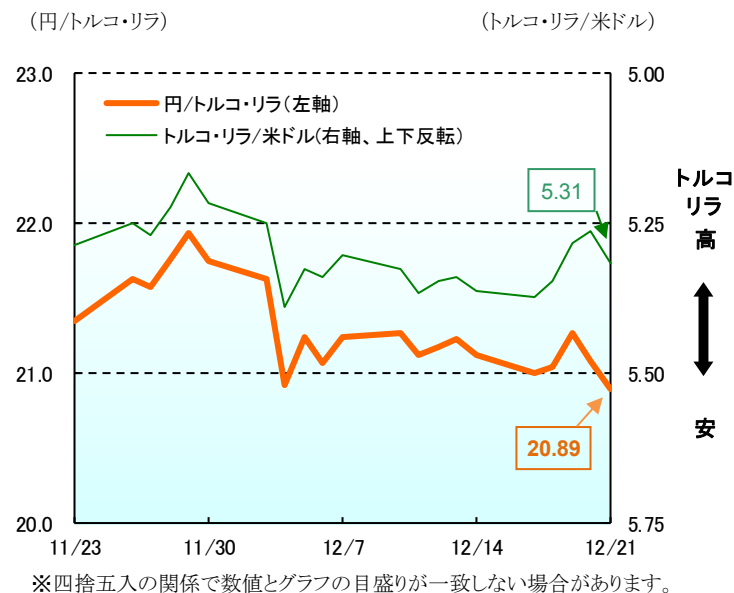
### 【2018年12月15日～2018年12月21日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドルで上昇しましたが、対円では下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

国内では鉱工業生産や消費者信頼感など、軟調な経済指標が複数発表されました。しかし、国内景気の鈍化は輸入の減少を通して経常収支の改善要因となることから、市場の懸念材料とはなりません。トルコ・リラは、米国株の下落など、世界的なリスク回避的な動きを受けて対円で下落しましたが、米国の利上げ観測の後退を受けて対米ドルでは上昇しました。国債金利は小幅に低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年11月23日～2018年12月21日)



#### 【2】今週の見通し

トルコ市場は、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続きそうです。まずは原油価格の下落や米国の利上げ観測の後退がトルコ・リラのサポート要因となりそうです。足元では米国株の下落に伴う市場のリスクセンチメントの悪化に留意する必要がありますが、年末年始は流動性が乏しいことから、動意に乏しい展開を想定しています。

【トルコ 金利推移】 (2018年11月23日～2018年12月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>